

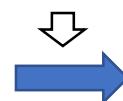
地域ビジョンに基づき評価し、活動の見直しをはかる～ロジックモデルの活用

地域の将来像
田舎だからこそ、
有るもの活かそう！
工夫と協働のといかん

解決したい主な課題

1. 幸せに住み続けられること
2. 若者の移住定住の促進と住宅供給
3. 持続的な産業
4. 新たな地域運営
5. みんなの居場所（複合拠点）づくり
6. 生活利便性の維持

- ・資源活用（価値づけ）
- ・取り組みの工夫（従来からの脱却）
- ・関係者の協働（地域内外みんな参加）



解決・達成

⇒ビジョンの取り組みが、
目標を達成しているか？
をチェックする必要

従来の評価方法

目指す評価方法

資源	活動	提供するもの	得られるもの（直接）	得られるもの（中期）	得られるもの（長期）
・ヒト ・モノ ・カネ ・バシヨ ・トキ など	・生活支援サービス ・地域資源学習 ・地場製品の販売 ・地域行事 など	・実施回数 ・参加人数 ・販売数 ・交流する場所 など	・困りごとの解決 ・外出機会の増加 ・地域資源を知る人の増加 ・収益の増加 ・人と人の交流 など	・困りごとのない生活の確保 ・外出頻度の増加 ・地域資源の保全・活用推進 ・知り合いの増加・孤立の減少 ・可処分所得の増加 など	・住み続けの実現 ・精神的自立 など

インプット
(地域・団体等活動を行うための資源)

活動

アウトプット
(活動結果)

アウトカム①(2~3年)
(活動を行うことで得られる効果・価値)

アウトカム②(5年~)

アウトカム③(10年~)

- ③
- ・アウトカムを実現するために、「誰に」「どんなサービス」を「どう提供するか」を改めて考える
 - ・「誰が」「誰と」行うかを考える（行政や企業を含む、他組織との連携など）

- ②
- ・最終的アウトカムを実現するためには何が必要か、を考える
 - ・数えられる指標を考える（住民アンケートなども想定）

- ①
- ・事業により最終的に達成したい状況
 - ・誰の、どんな問題を解決したいのかを考える

取組工夫、協働しても資源不足で活動継続困難

アウトカム①・②検討

アウトカム③検討

- 【地域運営組織】で重ねて、束ねて、時代に沿った形で地域活動を受け継ぐ
- ・閉じこもり防止：ボランティア組織で同機能を地域で展開
 - ・収益増加：利用料化
 - ・人と人との交流：他事業連携（水道検診と見守り、サークルとサロン…）
 - ・精神的自立、住み続け：自己の役割実現で生きがい元気づくり

必要な機能、
役割がある
(棚卸し)

と地
つ域
てに

役割を終えた
(棚卸し)

地域ビジョンに記載の内容をロジックモデルで整理した例

資源	活動	提供するもの	得られるもの（直接）	得られるもの（中期）	得られるもの（長期）
【他】障がい者や高齢者の活躍	1-1 いつでもみんなが気軽に集まれるたまり場づくり 1-2 障がい者や高齢者など地域みんなの活躍の場づくり	・誰もが集まれるたまり場、活動の場 ・障がい者や高齢者の参加機会	・人との交流 ・特技で活躍する人の増加 ・地域で活躍する障がい者や高齢者の増加	(1)地域全体でみんながみんなを支え合い助け合う地域 (2)高齢者が転出せずに住み続けられる地域 (3)幸せを実感できるやりがいや生きがいを持った暮らし (3)自分の役割があり、活躍の場のある地域	1.幸せに住み続けられること 5.みんなの居場所(複合拠点)づくり
【関係人口】①新しい働き方による起業家 【他】元気な退職者	2-1 多様な働き方ができる住宅 2-2 アグリコレクティブハウジング(農村型集合住宅)	・在宅等多様な仕事ができる賃貸住宅などの供給 ・高齢でも住み続けられる住宅	・住宅の選択機会 ・住み続けられる高齢者の増加	(2)若者従業者のための民間賃貸住宅など住宅の選択肢の増加 (3)多様な住宅ニーズへの対応	2.若者の移住定住の促進と住宅供給
【地域人】②地域ぐるみの子ども育成 【自然資源】③大自然の恵みによる豊かな人間形成	3-1 地域独自の子育て活動の持続的展開 3-2 地域みんながPTA	・子どもの参加機会 ・子どもが地域資源に触れる機会 ・大人の連携の機会	・地域資源や地域活動に興味を持った子ども ・人とのつながりを大切にする子ども・大人	(2)盛んなサークルや地域活動の維持 (2)子どもの健やかな成長	4.新たな地域運営
【地域人】①地域の強いつながりと支え合い・助け合い 【地域人】③行事などでの地域の団結力 【地域人】③地域課題解決の自立力	4-1 住民の地域運営組織設立 4-2 生活支援 4-3 関係人口等も含めた町内会活動や各種行事の実施 4-4 公共的機能の代替 4-5 地域情報の収集と発信	・新たな地域運営主体 ・きめ細やかな生活支援サービス ・効率的な地域イベント実施体制 ・丁寧な公共サービス ・小数利用者前提の公共交通 ・魅力の発信機会・知る機会	・担い手の増加 ・困りごとの解決 ・地域イベント実施の工夫 ・外出機会の増加 ・情報に触れる機会の増加	(1)担い手不足などに悩む町内会活動の維持 (3)人口減でも必要な公共施設や公共サービスの維持 (1)徒歩生活者のための地域商店や買物環境維持 (2)配食サービス等による高齢者や子育て世代、酪農家の負担軽減 (3)小数利用者へのきめ細かい交通による利便性向上	4.新たな地域運営 6.生活利便性の維持
【地域人】④外からの人を暖かく親切に受入れる力 【産業人】①地域で活躍する農業者等多様なスキル 【関係人口】②酪農業に憧れ訪れる研修生 【産業人】②研究林の多くの交流人口	5-1 雇用の確保や研修生の募集・受入れ 5-2 人材融通と仕事の共同化 5-3 新たな働き方による労働力の確保(プチビジネスハローワーク) 5-4 「といかん共同果樹園」の立ち上げと運営	・雇用機会・研修機会 ・産業の継続 ・産業間の連携機会 ・雇用・小遣い稼ぎの機会 ・果樹園を営む場・共同作業の場	・産業の担い手増加 ・関係人口との連携の増加 ・産業間の人的資源の融通 ・共同作業の体験 ・地域資源の活用体験・スキル取得	(4)多様な地域産業の小さな雇用、短時間の雇用を活かした新しい働き方の実現 (5)研究機関に訪れる研究者などの関係人口を活かした地域活性化の推進 (1)産業の担い手の確保のための地域全体での仕組み (2)山菜など豊かな地域資源を活かした新ビジネス展開 (3)キャンプなど大自然を活かした新ビジネス展開	2.若者の移住定住の促進と住宅供給 3.持続的な産業
【他】多様な集会施設 【他】空き家・空き店舗	6-1 小さな多機能拠点づくり 6-2 空き家・空き店舗の活用	・利便性の高い拠点の形成 ・活用可能な空き家・空き店舗と活用アイデア	・利便性の向上 ・活用可能な空き家の増加	(1)誰もが気軽に行けて、困りごとの相談、支え合い・助け合いの仕組みづくり (2)既存の施設や空き家、空き店舗の活用促進 (3)空き家の中古住宅としての活用による管理不全空き家の減少	5.みんなの居場所(複合拠点)づくり 2.若者の移住定住の促進と住宅供給
【自然資源】①四季を通して美しい自然・風景、山菜やキノコ・魚などの恵み、スキーや釣りなどのレジャー 【自然資源】④秘境駅など魅力ある多数の地域資源 【関係人口】③転入者が感じる「といかん」の良さ	7-1 関係人口による良さの発見と地域内外への発信 7-2 「といかん・みんなの市」を使った地域の良さの再発見	・地域の魅力の情報発信 ・販売機会 ・販売可能な商品開発 ・イベントへの参加機会	・地域の情報に触れる機会 ・地域資源を活用した商品にふれた人 ・イベント参加した人 ・収益の確保	(1)外からの人を心地よく受入れる力の持続、向上 ・といかんの魅力の発信 ・地域の経済活性化	2.若者の移住定住の促進と住宅供給

皆さんの団体等の活動をこの中に置いて、「得られるもの（直接、中期、長期）」を考えてみましょう